



厚生労働省福島労働局発表
令和4年1月24日

担当	福島労働局 労働基準部 健康安全課長 伊藤 達夫 主任地方産業安全専門官 空閑 秀雄 電話 024-536-4603 (直通)
----	--

『福島冬季転倒災害防止運動（転ばないでね！）』 の更なる取り組みをお願いします。

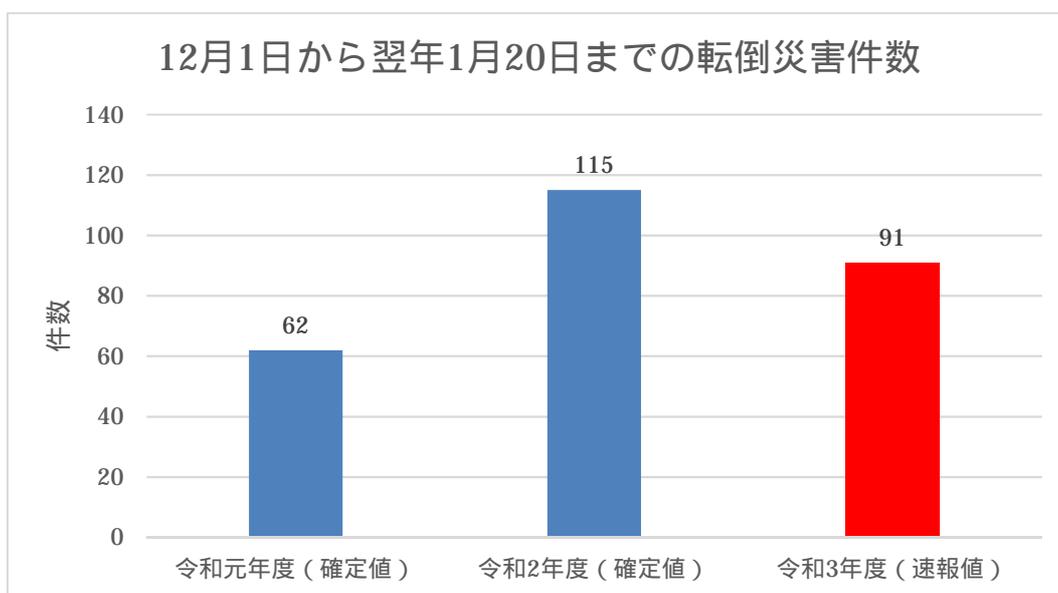
運動期間中、転倒災害が91件発生しています

福島労働局(局長 河西直人)では、労働災害の中で最も件数が多い転倒災害について、その4割が降雪・凍結の冬季に発生していることから、12月～2月までを本運動期間として、『福島冬季転倒災害防止運動（転ばないでね！）』を実施し、冬季の転倒災害発生削減に向けた取り組みを展開しています。

しかしながら、期間中すでに91件の転倒災害が発生しています(令和4年1月20日時点速報値)。令和2年度の同時期の件数115件と比較して約2割程度減少しているものの、令和元年度の同時期と比較して4割以上の増加となっております。

つきましては、『福島冬季転倒災害防止運動（転ばないでね！）』にて示している、冬季の転倒災害発生削減に向けた取り組みの更なる徹底をお願いいたします。

運動期間 令和3年12月1日～令和4年2月28日



凍結前の準備と確認！身体機能の確認を！

準備期間：令和3年11月1日～令和3年11月30日
運動期間：令和3年12月1日～令和4年2月28日

< 事前準備（降雪・凍結前） >

降雪、凍結等の気象状況における労働者に対する注意喚起
降雪、凍結時に転倒するおそれのある箇所の事前確認
融雪剤、凍結防止剤、スコップ、防滑靴等の事前準備



< 設備・作業環境等 >

作業通路における段差や凸凹、突起物、継ぎ目等の解消
4S（整理、整頓、清掃、清潔）の徹底による床面の水濡れ、油污れ等の除去
照度の確保、手すりや滑り止めの設置
危険箇所の表示等（見える化）の推進



< 安全衛生教育 >

視聴覚教材等を活用した転倒災害防止の繰り返し
の注意喚起
転倒予防体操等の励行

< 点検・管理等 >

定期的な職場点検、巡視の実施
高齢労働者や女性労働者等からの事業場内
転倒危険箇所（ヒヤリハットを含む）の聴取と
対策の検討・実施

< 作業行動等 >

決められた安全な通路の通行
作業内容に適した防滑靴やプロテクター等の
着用の推進
転倒災害防止のための安全な作業方法の推進
服やズボンのポケットに手を入れたままの歩
行禁止の徹底
スマートフォンを操作しながら歩く等「なが
ら歩きの禁止」の徹底
「転倒等リスク評価セルフチェック票」等を
活用した労働者自らの身体機能の変化の把握と
変化に応じた行動の徹底

* 融雪剤と凍結防止剤

特性や正しい使い方を理解しましょう

- 融雪剤「成分：塩化カルシウム」
金属の腐食が少ない尿素成分の物もあり
雪が降ってから撒くもの
新雪よりも踏み固まった雪に効果
シャーベット状になるまで少し時間を要す
- 凍結防止剤「成分：塩化ナトリウム」
雪が降る前に撒くもの
融雪剤ほど即効性はないが持続性あり

* 防滑靴

職場の作業環境にあった靴を選びましょう

- 水・油用耐滑靴
- 氷用耐滑靴

* 労働者自身の身体機能等の確認

- 身体機能変化の確認
「転倒等リスク評価セルフチェック票」
- エイジアクション100
「高齢労働者の安全と健康確保のための
チェックリスト」
- * 労働者自身の基礎的体力維持
- 転倒・腰痛予防！
「いきいき健康体操」
- いつまでも元気な足腰でいるために！
「ロコトレ」
(ロコモーショントレーニング)
日本整形外科学会ロコモティブシンドローム予防
啓発公式サイト
<https://locomo-joa.jp/check/lokotre/>

イラスト出典：職場のあんぜんサイト(厚生労働省)

滑り

つまづき

踏み外し

冬季の転倒、に要注意

転ばない
でね!



数字で見る
福島県内の転倒災害

労働災害の
うち転倒

約 **25** %

冬季

約 **4** 割

午前

約 **6** 割

50代以上

7 割以上

女性

約 **6** 割

休業1か月以上

約 **6** 割

出典：労働者死傷病報告より
(令和2年10月～令和3年9月)

準備期間：令和3年11月1日～令和3年11月30日

運動期間：令和3年12月1日～令和4年2月28日

『福島冬季転倒災害防止運動』実施中